

わが おばねっ子

地域を愛し、地域に愛される
学校をめざして



福原中学校
校長 鈴木 和典

昭和22年に旧福原村国民学校跡に福原村立福原中学校として開校した本校は、今年度で創立78年目を迎えました。その一方で令和8年度には尾花沢中学校との統合が決定しており、令和7年度末でその長い歴史に幕を下ろします。その背景には近年の急速な生徒数の減少があります。昭和38年には最大64名だった本校の生徒数は、今年度最小の49名までに減少しました。しかし、生徒数が減少しても、体育・文化面で全国大会や東北大会に出場者を輩出するなど、保護者や地域の方々に温かく見守られながら、生徒達は多岐にわたりその個性や存在感を発揮し、日々輝きを放ち学校生活を送っています。

本校の校訓は「敬愛 努力 自学 自修」であり、学校教育目標は「郷土を愛し、明優で「二力一心」を育む福中」です。「二力一心」とは「考えぬく力」「実践する力」「自他を愛する心」であり、めざす生徒像を「限りなき前進めざす福中生」として定めました。これからの変化に富む、予測困難な時代をたくましく生き抜き、生涯にわたり郷土を愛し、つながる自律した生徒の育成をめざして、日々教育活動を展開しています。この学校教育目標の実現に向けて、本校では「前進めざす11の取組」を掲げていますが、そこからいくつか抜粋して紹介します。

「地域に学び、地域に返す」

「総合的な学習の時間」の推進

地域を愛する生徒を育てるためには、地域をよく知らなければなりません。地域にはたくさんの教育資源があり、また、地域の方々の生き方は生徒たちのひとつのモデルです。地域に向き、たくさんの方々と交流する中で、地域の魅力や課題を再発見し、故郷に貢献できることを考える活動を行っています。



「豊かな歌声」「合唱の福原」の継承

福原中学校には代々合唱に力を入れてきた歴史があります。それは今も「合唱の福原」の名のもとに脈々と受け継がれ、生徒達も誇りと自信をもって合唱に取り組んでいます。練習の成果を保護者や学校運営協議会の皆さんなどに披露している「福原コンサート」は福原中学校の自慢の活動のひとつです。



「主体的に挑戦する」「生徒会活動」

・部活動・生徒活動の推奨

今年度の生徒会スローガン「Challengear〜輝け！福原の星 紡げ！無限の輝き〜」のもと生徒会執行部や専門員会ごとに自分たちで様々な活動を企画運営しています。生徒同士の絆づくり活動の「絆レク」やボランティア・SDGsの活動を行う「KAGAYAKI DAY」



など生徒たちのアイデアが随所にみられます。

「感動を創る」

「学校行事・生徒会行事」の開催

運動会や文化祭などの学校行事や生徒会行事は生徒達にとってまさに学校生活の醍醐味のひとつです。大いに笑い、泣き、仲間と感動を分かち合う経験は生徒達を成長させます。生徒達の青春のページを彩るかけがえない思い出となるよう、自分たちで考え、自分たちで実行する生徒主体の行事運営を目指しています。

「いのちを見つめる」

「福中のいのち」の開催

本校では「いのち」の教育についても力を入れていきます。道徳や保健の授業、外部講師の講話はもちろんのこと、年間3回「福中のいのちの日」を設定し、読み語り会を実施しています。学校運営協議会の皆さんや母親委員の皆さんからそれぞれ設定したテーマについてお話しいただき、生徒たちが人の生き方やいのちについて深く考える貴重な機会をいただいています。

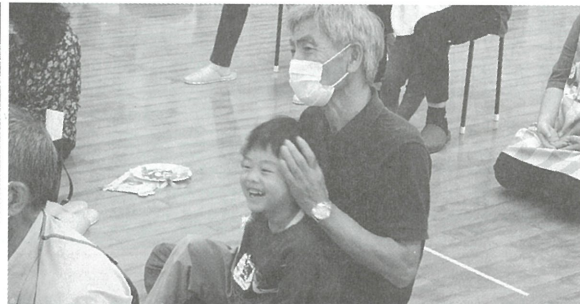


「福原中学校はこんな素敵な学校だったんだよ」「福原にはこんな素晴らしい学校があったんだよ」と皆さんが誇りをもち語り続ける学校をめざし、閉校まで残された日々を大切にしていきます。

わらべ歌を楽しもう

玉野保育園 園長 千葉美紀

10月4日、祖父母参観を利用して、幼児共育ふれあい広場を実施しました。県家庭教育アドバイザーの渡邊裕子先生から、わらべ歌や絵本の読み聞かせなど実演を交えた講話を頂きました。先生の優しい声に園児も祖父母もつつりしながら、見聞きました。歌に合わせて子どもたちの背中やおなかに触れたりしました。抱っこやタッチなど触れ合うことで、たくさん愛情が子どもに伝わることを教えて頂きました。また、発語やリズム感、運動能力を養う等、わらべ歌の効果や子どもと楽しく関わる為のヒントも教えて頂きました。祖父母のアンケートから、「歌や絵本でたくさん遊んでやりたい」「子どもは肌で感じるものが好きなのだと思った」等の感想を頂き、子どもとの関わり方を振り返る良い機会になったように思いました。



「歌うのが大好き」

毎週土曜日の練習を楽しみに、小中学生六名が活動している尾花沢少年少女合唱団です。

毎年、市民文化祭・大石町文化祭・クリスマス会の3回発表の場があります。その発表に向けて子ども達で選曲し、その曲に合わせて振り付けを考えたり、楽器を入れたりして曲を仕上げています。美しい歌声を目指し、発音練習もじっくり取り組み、発表会では、その歌声と曲の出来に観客の皆さんからは、温かい拍手をたくさんいただきました。花束をあなたに」の曲では、夏休みの練習の時に作った手作りの花束を使い、歌いました。かわいい花束が曲に花を添えてくれました。

こども達は、練習を重ねていくうちに、徐々に自信が出て、声もおなかからしっかりと出せるようになり、楽しみながら歌い、美しいハーモニーになりました。

来年度も美しい歌声を目指し、合唱団に入りたいたいなど思っていただけよう頑張りたいと思います。

(担当 千葉 亮子)

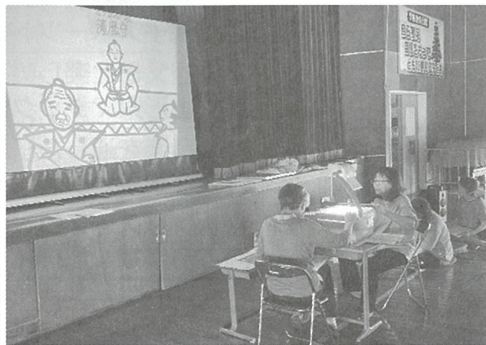


仲間と共に影絵上演活動

影絵サークルどんびんすかんど 代表 田村 より子

昔話と言えば幼い時、暗い寝間の布団の中で聞いた記憶があると思いますが、そんな情景と非常に似ているのが影絵です。影絵は切り絵にOPPという教育機器で光を当てて白と黒の画面を映し出し、そこに私達の語りを合わせて物語を作るのです。白黒の世界は子ども達の想像の世界を広げ、豊かなものにしてくれるに違いありません。

現在20作品を完成させて上演しています
が、昔話のみでなく地域の歴史を分かり易く伝えたいという思いから、お城山と殿様についての「野辺沢能登守物語」を作りました。常盤小学校では6月に前編を、10月には後編を昔話と合わせて毎年上演させて頂き、分かり易く面白いという感想を頂いています。その他、市内の小学校や保育園、高齢者の集会等から上演依頼があり有難い限りです。これから楽しく活動していきたいと思えます。



委員の「研修会」を開催

昨年の6月19日に今年度の第一回すこやかネット花笠推進協議会が開催され、委員の方々の資質向上と研修を兼ねて、福原小学校の青柳豊先生から「地域学校協働本部の役割と具体的活動」というテーマで講話をしていただきました。青柳先生は、昨年度まで県教育局に勤務され、山形県全体の地域学校協働活動を推進する仕事に携わってこられました。すこやかネット花笠推進協議会は、学校と地域・保護者の連携・協働活動（地域学校協働活動）によって子どもの生きる力を育むことを目的としており、同時に活動推進の本部的な役割を担っています。青柳先生か

らは、地域学校協働活動の目的やその本部の役割、他市町の事例などについて具体的にお話ししていただきました。「連携・協働とは、立場の異なる人たちが同じ目的のために対等な立場で協力し、共に活動すること」「地域学校協働活動の推進は、地域の教育力と学校教育の質を高めながら、『学校を核とした地域づくり』を具現化するものである」など多くのことを学ばせていただきました。今回の研修は、私たちににとって自分の考えを深めるいい機会となりました。

お忙しい中講師をお努めいただきました青柳先生に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(研修担当 森山 仁)



●家庭教育支援

■やまがた子育て講座

場 所	開催日	内 容
福原小学校	11月22日	演題「今すぐ伝わる！親子が笑顔になる魔法の言葉『まる語』」 講師：県家庭教育アドバイザー 菊地喜美子 氏
悠美館 ハイビジョンホール	3月8日	演題「子どもの育ちを支える環境づくり」～心の根っこは遊びで育つ～ 講師：県家庭教育アドバイザー 村山 恵子 氏

■幼児共育ふれあい広場

場 所	開催日	内 容
ひまわり保育園	9月14日	テーマ：マジックショー 講 師：大類 準一 氏
玉野保育園	10月4日	テーマ：わらべうたを楽しもう わらべうたや読み聞かせでスキンシップ 講 師：県家庭教育アドバイザー 紙ふうせんの会 代表 渡邊 裕子 氏
ときわ保育園	10月12日	テーマ：親子運動会 親子講座 講 師：親子スポーツトレーナー 大山 史子 氏
おもだか保育園	10月16日	テーマ：祖父母と楽しめるマジックショー、孫育てについて 講 師：山形県マジック協会長 畑中 昌則 氏
尾花沢幼稚園	10月23日	テーマ：音楽を通した子育て 講 師：音楽家 伊藤 萌 氏
おもだか保育園	12月13日	テーマ：クリスマスコンサート 講 師：音楽家 加藤 皓平 氏

中高校生ボランティアサークル『風ぐるま』

このボランティアサークル「風ぐるま」は小さな子ども達や地域の方々と楽しくふれあうことが出来るボランティア団体です。今年度はひまわり保育園やよつばこども園の夕涼み会にバルーンアートのボランティアに参加して来ました。他校の方とも仲良くなれてとても楽しいです!!

【風ぐるま 会長 大類 陽菜(福原中1年)】

風ぐるまは現在17名で活動しています。仲間を募集していますので、やってみたい方は、悠美館2階社会教育課にご連絡ください。



ひまわり保育園夕涼み会



よつばこども園夕涼み会

編集後記

中学校統合まで一年、そして小学校統合まで二年あまりとなりました。先日、「国内出生数、九年連続過去最少更新」というニュースが流れていました。この現状を考えると学校統合も致し方ないとは思ふものの、一抹の寂しさも感じます。

さて、今回の一面は、来年度いっっぱいで閉校予定の福原中学校の鈴木和典校長先生に特色ある教育活動の取組について紹介していただきました。福原中学校は、昨年度から学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール制度)を導入し、地域と連携・協働した活動に積極的に取り組んでいます。鈴木校長先生には、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございます。

最後になりますが、本協議会の活動にご理解とご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。来年度も家庭教育支援や地域学校協働活動の推進と充実に向けて、関係者の皆様と共に取り組んで参りたいと思っております。
(編集担当 森山 仁)

発行者

尾花沢市すこやかネット花笠推進協議会
新子どもセンター

(尾花沢市教育委員会社会教育課内)

〒九九九-四二二五

尾花沢市若葉町一丁目八番二十五号

TEL 一三一-三三三三

FAX 一四一-〇〇九三